

いずれの日も講演順に変更の可能性があります

**7月20日 13:00-17:45 招待講演と公募班による発表（招待講演40分、公募班20分+休憩20分）**

13:00-13:05	初めの言葉	葛山 智久	東京大学大学院農学生命科学研究科	
13:05-13:45	招待講演 1	原田 慎吾	千葉大学大学院薬学研究院	理論解析に基づくカルベン反応の開発と合成展開
13:45-14:05	公募班 1	佐藤 努	新潟大学自然科学系	新型テルペン環化酵素の同定とゲノムマイニングによる未踏生成成情報の集積
14:05-14:25	公募班 2	高橋 俊二	理化学研究所環境資源科学研究センター	AIを活用した未知の二次代謝生成成酵素の機能解明と分子間相互作用の精密解析
14:25-14:45				
14:45-15:25	招待講演 2	大上 雅史	東京工業大学情報理工学院	AIとシミュレーションが駆動する分子設計
15:25-15:45	公募班 3	長 由扶子	東北大学農学研究科	多コピー生物のアイソフォームと酵素近接性に注目した生成成反応効率の変動予測
15:45-16:05	公募班 4	丸山 潤一	東京大学大学院農学生命科学研究科	大規模ゲノム改変にもとづいた合成生物学育種による天然物生産に特化した麹菌の創出
16:05-16:25				
16:25-17:05	招待講演 3	斎藤 裕	北里大学未来工学部	AIが導く生体分子デザイン
17:05-17:25	公募班 5	松原 輝彦	慶應義塾大学理工学部	ファージ提示法で得られたペプチド配列リソースの標的指向型修飾法の開発
17:25-17:45	公募班 6	藤城 貴史	埼玉大学理工学研究科	三重結合アミノ酸合成系を改変したクリックケミストリー指向型ペプチド合成系の構築
18:00-20:00	懇談会			

**7月21日 9:30-11:50 計画班の分担者による発表（1件30分+休憩20分）**

9:30-10:00		長谷部 文人	福井県立大学生物資源学部	潜在機能覚醒技術を用いた微生物由来新規ペプチド化合物の開拓
10:00-10:30		佐藤 玄	山梨大学工学部	計算科学の利活用による未知生成成経路の解明と未踏天然物の創出
10:30-10:50			休憩	
10:50-11:20		松田 研一	北海道大学大学院薬学研究院	ヒドラジン合成酵素を介するN-N結合含有天然物生成成経路の開拓
11:20-11:50		小笠原 泰志	北海道大学大学院工学研究院	反応性の高い置換基を持つアミノ酸を利用したペプチド構造の多様化